

### 令和5年度夏 あらかわ俳句吟行会

対象	区内在住・在学・在勤の方
投句数	94句
投句者数	36人
投句条件	テーマ:区内の公園 夏の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和5年6月11日(日曜)から7月10日(月曜)

特選	尾久の原じゃぶじゃぶ池に日焼けの子	茂木重節さん
選評	こんがりと黒く日焼けした元気な子ども達が、賑やかに「じゃぶじゃぶ池」で水遊びに夢中である。尾久の原公園にはこの池の他に芝生広場、トンボ池等々がある。夏場になると多くの家族連れが訪れ賑わいを見せている。逞しい子ども達の晴朗感や喜び等が感得出来る。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	暮鳴くや池水満ちたる尾久の原	小池恵美子さん
	青芝に寝て大川の風清か	安田蝸牛さん
	宮前の芝生駆け抜け夏の空	かえるゑるさん
	夏の月負ふやきりんの滑り台	音羽凜さん
	夕焼を横切る長き滑り台	遠藤玲奈さん

### 令和5年度秋 あらかわ俳句吟行会

対象	区内在住・在学・在勤の方
投句数	94句
投句者数	20人
投句条件	テーマ:荒川公園 秋・冬の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和5年11月1日(水曜)から11月30日(木曜)

特選	区役所へ解除手続き落葉踏む	三田忠彦さん
選評	解除手続きには、主に結婚届、離婚届、死亡届等々あろうが、手続きで区役所の行き帰りに落葉を踏んだ際に音がいつもと微妙に違って重苦しく、イライラ感や一抹の寂しさが複雑に交差している。微妙な心の表出が享受される。選者満票の作品。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	やじ馬も困暮指す人も冬隣	斉藤寿美子さん
	釣果問われ日向ぼっこ太公望	紫音さん
	食堂は半地下窓に裏紅葉	横須賀智子さん
	白鳥の番ゆるりと池回遊	川越のしよびさん
	喫煙所は車輛の形银杏散る	鈴木しおりさん